

生成 A I 研究校実践事例

学校名	都立大泉高等学校附属中学校		
学年	第 2 学年	教科等	国語
単元名（全 2 時間）	生成 A I 流「枕草子」と比べることで、 清少納言「春はあけぼの」と自分流「枕草子」を分析しよう		
授業の概要	①プロンプトを工夫して生成 A I 流「枕草子」を書かせる。 ②生成 A I 流「枕草子」との比較を通して、清少納言「春はあけぼの」の 発想・表現・構成を分析する。 ③自分流「枕草子」を書き、自己のものの見方や表現の特徴を分析する。		
本時において生成 A I を活用する良さ	・ビッグデータから特定の語に続く可能性が高いと考えられる語を生成する という生成 A I の特徴を生かして、清少納言の卓抜した発想・表現・ 構成や生徒の自分流「枕草子」の特徴を捉え直すことができる。 ・多数の生成 A I 流「枕草子」を比較検討することで、自己のものの見方 を相対化し、自分流「枕草子」を考える手がかりとできる。		

本時の目標 (1/2 時間)	生成 A I 流「枕草子」との比較を通して清少納言「春はあけぼの」を分析しよう	
	●主な学習活動・生徒の活用	□生成 A I の活用
本時の流れ	●生成 A I 流「枕草子」を書かせる。 ①教科書にある書き出しや字数の指示をプロンプトにする。 ②プレーンテキストではなくマークダウン記法で構造化すると、 より正確にプロンプトを伝えられることを学ぶ。	□「春は……。夏は… …。」の書き出しを使っ た生成 A I 流「枕草 子」を書かせる。
	●生成 A I 流「枕草子」の特徴を分析する。 ①書かせた生成 A I 流「枕草子」を Teams に投稿する。 ②生成 A I 流「枕草子」を見比べて、生成 A I の強み・弱み・そ の他の特徴をグループで分析して、発表する。	□Teams に投稿された生 成 A I 流「枕草子」を データ連携機能で分析 させる。(機能の紹介)
	(主発問) 清少納言「春はあけぼの」は、なぜ名文とされるのか。	
	●清少納言「春はあけぼの」と生成 A I 流「枕草子」の発想や表現 を比較する。 ①多くの生成 A I 流「枕草子」では「春は桜」などの景物が共通 している一方、清少納言は一般的にイメージする季節の風物を 描いていないことに気づく【発想】。 ②清少納言の描写には、数詞や色の具体性や、「夕日が山の端に 近づく」といった表現の細やかさがあることを学ぶ【表現】。 ③多くの生成 A I 流「枕草子」では春夏秋冬の各段に関連はない のに対し、清少納言は「春はあけぼの・夏は夜・秋は夕暮れ・	□本時で学んだ清少納言

	冬はつとめて」と特定の時間帯と四季の運行を組み合わせる章段全体を立体的に構成していることを学ぶ【構成】。 ④清少納言「春はあけぼの」の特徴や魅力について、自分の考えをまとめる。	「春はあけぼの」の特徴を踏まえて、改めて生成AI流「枕草子」を書かせる。
--	--	---

	使用したプロンプト例	出力例
1	# 指示 以下の条件に従って 400 字程度のエッセイを書いてください。ただしその際、上記の役割が文体や内容に表れるように書いてください。 # テーマ - [] 日本の中学生の春夏秋冬を切り抜いた情景 # 条件 - [] 清少納言の『枕草子』「春はあけぼの」のように、「春は……。」という書き出しで、四季について描写する。	<u>春は桜花</u>。朝の冷たい空気が徐々に暖かさを運び、日が昇るにつれて学校の校庭は桜の花びらでピンク色に染まる。制服の袖口からちらりと見える長袖の白いシャツ、それがまるで冬から春へと移り変わる季節の象徴であるかのようだ。(中略) 冬は雪合戦。初めて降った雪を見て、子供たちは外へと駆け出す。雪だるまを作り、雪合戦をする。顔を真っ赤にして笑う子供たち、それが冬の学校生活の風景だ。しかし、室内に入れば、暖房が心地よく、窓の外を舞う雪を見つつ、静かに授業に取り組む時間もまた、冬の学校生活の一部である。
2	1の追加プロンプト もっと、ありきたりでない情景を描いて、読者に意外性を感じさせる内容にしてください。	<u>春は遠雷</u>。校庭に立つ古いケヤキの木の下、一人の生徒が本を読んでいる。春雷が遠くで鳴り響き、生まれたばかりの芽吹きが震える。この季節特有の電氣的な空気は、学校生活に刺激的な背景音楽を提供し、読書のひと時に深い余韻を与える。(中略) 冬は曇りガラス。教室の曇った窓ガラスに、生徒が指で絵を描く。外は冷たい空気ですく息を吐き、中は暖房の温もりが包む。この小さな行為は、寒さの中にもほんの少しの遊び心と温かさを生み出し、冬の学校生活に彩りを加える。
3	(生徒の書いた自分流「枕草子」の冒頭部分をペーストする。) この随筆の続きを 100 字程度で書いてください。	<u>春は香り</u>。草木や桜、新しい香りが漂ってくる。桜の花びらが風に舞い散る中、私は庭や公園に足を運ぶ。そこには様々な花が咲き誇り、その香りが私を魅了する。菜の花畑からは爽やかな花の香りが立ち上り、桜の木々からは甘く優雅な香りが漂ってくる。新緑の中に混じる花々の香りは、私の心を喜びで満たしてくれる。

	本時において生成ＡＩを活用する上での配慮事項・ポイント
1	・ 便利さや手軽さなどの生成ＡＩの強みとともに、「自分流」の着眼点をもった表現・比喩・省略表現などの生成ＡＩの弱みも分析させることで、生成ＡＩの適切な活用方法を考えさせる。
2	・ 生成ＡＩの書いた文章をそのまま活用するのではなく、清少納言や自分の書いた文章と比較することで、複数テキストを批判的な視点をもって価値づける力を身に付けさせる。